

ブルンジ月報（2023年5月）

1. 内政・外政

- 4日、国連人権理事会によるブルンジの人権状況に関する第4回普遍的定期的審査が行われる。(UN Human Rights Commission)
- 8日、ブニョニ元首相は、最高裁の審理を受けた後、ブルンジ北部にあるンゴジ中央刑務所に移送された。(Rwanda News Agency)
- 10日、ブルンジ政府は、重大な過失により、国によって解雇、解任された人々を再雇用した民間企業に対し、直ちに契約を終了するよう求めた。(Region Week)
- 14日、チビトケ県キビラ自然保護区で、ルワンダの反政府勢力が Imbonerakure（ブルンジの与党である CNDD-FDD の青年同盟のメンバー）を攻撃し、2名が死亡、4名が重傷。(SOS Media)
- 20日、ブルンジ軍は、コンゴ民主共和国にいるブルンジ軍が武装集団と協力しているという報道を否定。またルワンダのテレビ局がそのような報道をしたと非難。(The New Times)
- 30日、シンギロ外相は、ロシアのラブロフ外相のブルンジ訪問に関し、ブルンジがロシアのウクライナ戦争に味方することはないと主張。「この紛争が他の地域、特にアフリカに広がらないよう、ブルンジは棄権、中立、非同盟の立場をとっている」と発言。(AFP)
- 31日、ブジュンブラにて第21回 EAC 臨時首脳会議 (EAC Head of State Summit) 開催。コンゴ民主共和国東部の平和と安全の回復に関する現状と今後の方針が議題。(The New Times)
- 31日、ブルンジを訪問中のロシアのラブロフ外相は、シンギロ外相との会談後、民生用原子力エネルギーに関する両国の政府間協定の準備が最終段階に入ったと述べた。(The Star)

以上